

(1) 戦後史関連の戦史史料編さん

戦後史関連の戦史史料編さんはオーラル・ヒストリー（口述記録の作成）と「基地問題関連資料集」編さんに取り組んでいる。このうち、オーラル・ヒストリーは1970年代の我が国の安全保障に関するものであり、

- ① 中村龍平氏を中心としたオーラル・ヒストリー
- ② 特定のテーマに関するオーラル・ヒストリー
- ③ 山田良一氏を中心とするオーラル・ヒストリー

の3件に取り組んでいる。

中村龍平氏を中心としたオーラル・ヒストリーは本年度の刊行を、山田良一氏を中心としたオーラル・ヒストリーは平成20年度の刊行を目指している。

特定のテーマに関するオーラル・ヒストリーは再軍備問題に関する歴史的事象について、オーラル・ヒストリーの手法により要人の口述記録を作成し年度中に刊行する予定である。

(2) 国外散逸史料の収集

平成18年度の豪州に引き続き、本年度は米国、英国、台湾における調査を実施し、年度末迄にフランスの調査を計画している。

各調査において、対象国の公文書館等において、日本軍の散逸資料および旧連合軍の戦争指導関連資料の所在が確認できたことから、逐次散逸史料等の収集を実施する予定である。

(3) 編さん業務担当者

区 分	担 当 者
オーラル・ヒストリーの作成 (中村龍平氏、山田良一氏等)	相澤 主任研究官 宿久 所員 山口 所員
	高橋 所員 岡田 所員 羽生 所員
	中島 教官
史料集の作成	大場 主任研究官 柴田 主任研究官
	野島 主任研究官 大鶴 所員 安藝 所員

4 戦史史料の閲覧

防衛研究所は、旧陸海軍関係の公文書、非公文書及び戦史関係の出版物並びにそれらの複製物（以下、「史資料」という）を、平日9時から16時30分まで、図書館史料閲覧室において一般に公開している。

調査研究のため閲覧を希望する者は、所定の手続きをとって誰でも閲覧することができる。

平成 19 年の閲覧者総数は、3,475 名であった。

月別閲覧者数は、下表の通りである。

月	1	2	3	4
閲覧者数	208	256	297	229
月	5	6	7	8
閲覧者数	279	257	312	431
月	9	10	11	12
閲覧者数	263	292	340	311

5 レファレンス

防衛研究所は、主に図書館史料閲覧室を窓口として、史資料の検索、特定史資料の内容に関する情報提供、史資料に関する参考文献及び専門的調査機関等に対する情報提供を行っている。

平成 19 年のレファレンス統計は、下記の通りである。

(1) 要求件数

総件数は、1,281 件であった。月別件数は下表の通りである。

月	1	2	3	4
要求件数	144	165	131	75
月	5	6	7	8
要求件数	79	94	91	117
月	9	10	11	12
要求件数	93	113	88	91